

各校水泳部顧問の先生方へ

顧問総会議案についていただいたご意見についてまとめた形で回答させていただきます。

＝意見概要＝

(1) 県総体平日開催を反対する意見について

例年 2.5 日を今年度のみ 3 日間になります。(2.5 日の件は、2014 年度よりすでに実施済み)

基本的な考え方

- ① 2013 年度までの隔週開催では、選手のコンディション作りの困難さ、上位大会につながる予選会のため、ベストな状態で大会に参加させるため。
- ② シーズン当初、屋外プールが一般の学校にとっての練習期間をできるだけ多くとり、開催時期を関東大会申込に合わせできるだけ確保する日程とするため連続日程での開催になった。

※今年度については、会場の人数制限、新型コロナ感染防止対策の観点から、0.5 日の許可を高体連に行った。

(2) マネージャーの入場の希望について

会場の入場制限は、競技役員・選手・引率教員（競技役員以外）で 500 人以内となっているために希望通りに入場させるのは困難である。選手をできるだけ出場させることを第一に考えると、マネージャーのみ人数制限して入場させるのは不公平が生じるので、今回の大会ではマネージャーの入場を認めないとした。

(3) 競技役員の人数縮小について

競技役員については必要最低限で実施する方向ですが、県総体は公認大会であるため、必要な人数は配置する。

(4) 県総体 3 年生記録会での制限記録撤廃・緩和について

「県大会」、「公認（公式）大会（公認記録として認定）」であることを考えると全く制限がなく出場するということはできないと考える。また、無制限で出場させることにより、参加選手が増えることも考えられる。県大会として実施するため、ある一定のレベルを設けることは必要と考える。これまでの県総体制限記録については、もともと参加制限は中学校とも比較しても緩やかな制限記録であり、できるだけ多くの選手に出場機会を与える考え方で実施している。

(5) 平日開催での公務としての扱いについて

今回は 3 日間を県高校総体として開催する。高体連にも許可、確認をとって実施するため、公務として問題ないとする。

(6) 3年生記録会でのリレー実施について

3年生記録会でのリレー種目実施で1,2年生も含めて入場できないかという意見だが、さらに入場者を増やしてリレーを実施するのは困難であり、実現させるには3年生のみリレーか3年生記録会の制限記録を上げて参加者を少なくするかしかないと考える。

(7) 県総体（関東大会予選会）の出場人数について

今回は3年生記録会を設けたことで混乱している部分も見られますが県総体の参加資格は従来と変更はありません。1校1種目3名、1名2種目、その他リレーのみ出場者、リレーは個人種目出場者及びリレーのみ出場を含めて編成する。参加費は県総体の参加費が適用されるので3年生記録会、関東予選会も共通です。

(8) 1,2年生で制限を切れない生徒のための大会開催の要望について

開催会場、開催時期を考えると、今年度「1・2年生対象」の大会を実施するのは、難しい。そのため、今年度に限って1,2年生は夏季シーズンの大会（地区大会、県新人戦）で代替してもらいたい。

(9) 大会の様子を Web で配信について

昨年度（令和2年度）高体連より各専門部で保護者等無観客大会を実施することの対応として Youtube での大会の様子を配信する試みが示された。

水泳や陸上は一つの会場で実施するので適しているが他の専門部は分散して実施することも多いので経費から困難とのことであった。実施については各専門部で費用を負担することになる。その時点では数十万円の協賛金等を集めてという話しであった。今後も高体連と連絡を取って確認していく。

なお、映像の配信については個人情報や肖像権等に配慮し高体連の規約に従えば専門部の判断でできるとの確認を取っているので今後費用の掛からない方法で検討していきたい。

以上

水泳専門部委員長 酒井 篤